



広
報

はちおうじ

特集
就活

地元中小企業への就職



“働く幸せ” 地元

石川町にある山王テクノアーツ株式会社の皆さん

市長メッセージ

夢はちおうじ

先日、夏休みを利用して東日本大震災被災地でのボランティア活動に参加した大学生から活動報告を受けました。この派遣事業は、大学コンソーシアム八王子が岩手県立大学と連携し企画したもので、76名が参加。学業では決して得ることのできない貴重な体験は、必ずや将来の仕事や生活に役立つものと確信した次第です。

去る8月31日には「産学公連携教育」をテーマに、大学コンソーシアム主催のフォーラムが開催され、私もパネラーの一人として参加しました。学生にとっては地域全体が「まるごとキャンパス」であり、学内だけでは習得できないこのまちでの経験は、社会に出てからの即戦力となるはずです。本市でも、インターシップ(就業体験)をはじめ、様々な学びの機会を学生たちに提供しています。

学園都市・八王子は、日本のものづくりを支える先端技術産業の集積地。縁あって学んだこのまちで、働きがいのある企業に出会うための多彩な取り組みを展開しているところです。本市としては、これまで以上に大学や企業との連携を図り、学生たちの学びや就職活動を積極的に支援してまいります。

(市長 黒須隆二)



プロフィール
魅力ある学園都市づくりのため、
地域23大学などで組織する「大学
コンソーシアム八王子」の会長。学
生の就職問題に独自の視点で取り
組む。

これまで、多くの学生の就職活動を見てきましたが、名の通った大手企業への就職を希望する学生が大半です。「なぜその会社がいいの」と聞くと「業界のトップだから」という答えをよく聞きます。私は『ブランド志向』と呼んでいます。知名度やイメージが就職先選択の決め手になっている傾向が強いですね。

また、『安心』を理由に大きな企業を選ぶ学生が多いですが、もう時代が違う。皆さんご存知のとおり、大手企業だつてつぶれるんです。安泰な企業とは会社の知名度や大小ではなく、戦略や成長見込みといった将来性で判断する時代に突入しています。

就職サイトも一因

現在、ほとんどの学生はインターネットで就職活動を行っています。すべての企業が網羅されていれば問題はありませんが、サイトに載っている企業は、

東京工科大学学長 軽部征夫さん

ミスマッチの背景に情報不足

インタビュー

就活の現状

求人を出している企業のうち、1パーセントくらい。サイトに掲載するためには多額の掲載料がかかりますからね。我々の大学には毎年2千から3千の求人が来っていますが、サイトに載っている企業はほんの一握りです。就職サイトを頼ると、自然と情報不足になって、狭い範囲での活動になってしまう。これもミスマッチの一因なんです。

もっと視野を広げて

私は、働くということとは一つの自己実現だと思っています。自分が何をしたいのか、どこに働きたいを感じるのか、また興味や能力も千差万別です。

インタビュー

求人者の現状

厳しい状況。でも求人はある

ハローワーク八王子所長 森泉尚人さん

平成20年のリーマンショック以降、企業が新卒者向けに出す求人は減る傾向にあります。特に大手企業で採用を控える動きが顕著ですね。逆に言えば、中小企業が積極的に優秀な新卒者を採用できる状況になってきているのではないのでしょうか。実際、

中小企業は存在が見えにくい

元気な若手を求める企業は確かにありますが、中堅・中小企業

は存在が見えにくい。大企業に比べると中小企業の情報発信力は、どうしても弱くなっています。ここ数年は、長引く不況で学生さんの意識が変わりつつあり、大手一辺倒ではなく、「中堅・中小志望」の方が徐々に増えています。しかし、中小企業を志望しても情報がなくて見つけないとできない——こうしたケースも多いですね。就活では「多様な情報チャネルを駆使し、魅力的な中小企業を発見することが大切です。そのためには、八王子新卒応援ハローワークをご利用ください。



プロフィール
若者の就職支援を積極的に行っているハローワーク八王子の所長。地元の中小企業の求人事情に精通する。



中小企業は受けないの？

10月。2013年の新卒者の就職戦線が本格的にスタートしました。学生の皆さん、就活(就職活動)の選択肢に八王子の中小企業は入っていますか——。

大卒の5人に1人が定職につけない時代。しかし、決して就職先がない訳ではありません。その背景には何があるのでしょうか。



chapter 1

就職戦線の現状を

探る

未来を託せる企業で
働きたい学生

出会えない=ミスマッチ

優れた“人材”が欲しい
中小企業

八王子市は11万の学生が学ぶ学園都市であると同時に、1万9千の事業所が集積する多摩屈指の産業都市でもあります。毎年、地域23の大学・短大・高専から2万5千人が卒業している一方、そのうち市内企業に就職する方は1パーセント以下にとどまっています。地元学生の市内への就職率は決して高くありません。

民間研究所の調査によると、今春の大卒者一人に対する求人数は中小企業が4社、大企業は0.5社。中小企業からの求人は多いものの、就職を希望する学生が少ないという「ミスマッチ問題」が、就職難の一因になっているようです。市内企業の99パーセントは中小企業。キラリと光る魅力的な会社もたくさん存在しています。



プロフィール
入社3年目の26歳。アメリカの大学を卒業して入社。(株)ゼロエミッションは不用品を買い取り、リユース(再利用)商品として店舗で販売する事業を展開。従業員数は146名。

インタビュー 職場の雰囲気は

一人ひとりを大切にしてくれる

株式会社ゼロエミッション (大和田町五丁目)
松田 香菜子さん

現在は、商品の買い取り・販売・管理、採用面接など、会社の仕事を総合的にこなしています。就職活動を始めたのは、大学4年の秋。企業の規模にこだわらず『雰囲気の良い会社』を選ぶと決めていました。複数の企業説明会に参加しましたが、業績や給料の話がほとんどで、会社の雰囲気はつかめませんでした。

そんな時に、出会ったのがゼロエミッション。八王子駅北口の学園都市センターで企業説明会があったのですが会場には私一人だけ。それなのに社員の方は丁寧ないろいろなことを教えてくれました。私も社内の雰囲気を詳しく聞いて、社員をと

アットホームな会社

でも大切にしてくれる会社だと直感したんです。

インタビュー 経営者から見て

“経営者魂”を持てる

ライジングサンコーポレーション株式会社 (明神町四丁目)
代表取締役 坂本 佳子さん



プロフィール
39歳。ホームページ制作から業務システム開発、サーバー構築などを行う同社の代表取締役を平成15年から務めている。従業員数は15名。

社員一人ひとりが『経営者魂』を持って仕事ができることが中小企業の最大の魅力ですね。責任が重いという意味もありますが、仕事への思いや、やりがいを持って働くことを強調したいですね。

弊社で言えばシステムやコンテンツを作る中で、お客様に弊社にお願いして良かったと思ってもらえる仕事をしなければなりません。そのためには、創意工夫や自分なりの付加価値を付けていく必要があります。

その分、社員一人ひとりの自由度が高く、そこにもろみがあります。私の知る限り、上司にものを言えない中小企業はな

中小企業で働くということ。
大企業と違うところは。その魅力は。
市内でバリバリ働く先輩たちに伺いました。



インタビュー 働きがいは

「会社を動かしている」実感

株式会社アルファール精工 (川口町) 品田 堅太さん



プロフィール
34歳の技術者。5年前大手メーカーから転職し、工場長を務めている。(株)アルファール精工は金属加工を行い、電子機器の部品などを製造。従業員数は40名。

アルファール精工に入社して5年目になります。今の会社に入る前は、大手の電機メーカーでセラミックス基板の技術営業や開発、携帯電話のカメラモジュールの開発に携わっていました。

で、なかなか実現できません。どうしたら「これだ」と思う仕事ができるのか悩んでいました。そんな時に、仕事で世話になっていたアルファール精工の方と話す機会があり、思い切った転職を決めました。

やりたい仕事最後まで

現在の職場では、商品の企画・製造や営業時には採用面接も行います。会社の業務全般に関わり、やりたい仕事に最後まで携われることが魅力ですね。正

直、大企業に比べ景気の影響を受けやすい面もありますが、その分一人ひとりの責任は重く、やりがいも大きくなります。以前は「〇〇社の品田さん」という会社の看板で仕事をしていました。今は自分の実力で勝負している感じです。品田だから仕事をお願いするよ」といった、うれしい依頼をいただくこともあります。自分が会社を動かしている——そう感じられることが最大の働きがいのなんでしょう。

コラム 最先端を走る八王子の中小企業

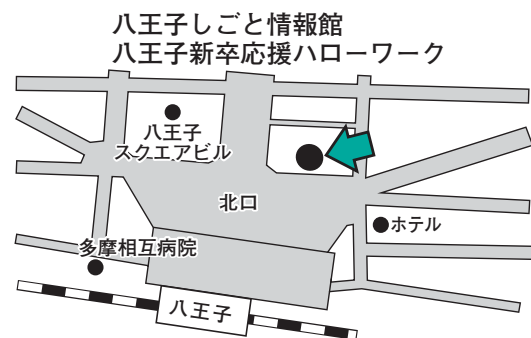
多摩地区最多となる19,000の事業所が集積するまち八王子。特長的な産業は、精密機械・電子機器・ITなどの分野で最先端を走る“ものづくり産業”です。

時代に合わせて発展を遂げ、

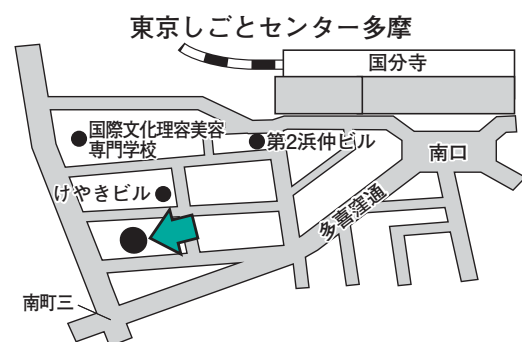
現在は約1,800のものづくり企業が立地しています。こうした企業の強みは、独創的な製品の開発や高い技術力。今後も日本のものづくりの一翼を最前線で担っていくことは間違いありません。



下恩方町の工業団地



◆**新卒応援ハローワーク**
学生、または卒業3年以内の方を対象としたハローワークの窓口です。求人情報の紹介のほか、模擬面接や履歴書の添削、臨床心理士などによる相談なども行っています。
受付時間 月～金曜日の午前9時～午後5時(土・日曜日、祝・休日、年末年始を除く)
所在地 旭町10-2ハ王子TCビル3階
連絡先 ☎631・9505



◆**東京しごとセンター多摩**
就業相談を中心にセミナーや職業紹介を行う東京都の窓口です。
受付時間 月～土曜日の午前9時～午後8時(土曜日は5時まで、日曜日、祝・休日、年末年始を除く)
所在地 国分寺市南町3-22-10 東京都労働相談情報センター 国分寺事務所2階
連絡先 ☎042・329・4510



センターの方から一言

杏林大学キャリアサポートセンター
清水 みさ子さん

求人の紹介だけでなく、すでに社会で活躍している卒業生への訪問や、企業へのインターンシップの仲介なども行っています。気軽に足を運んでください。

セミナーや面接会なども

市はハローワークハ王子やハ王子商工会議所などと協力して、学生の就職活動を支援しています。長期間、市内の企業でインターンシップを行う「ものづくり留学」や企業を訪問する「バスツアー」、直接就職につながる面接会も開催しています。詳しくは市のホームページをご覧ください。



就職を支援する事業	
事業名	期日
就職支援セミナー	10月13日(木)
福祉の仕事就職面接会	10月21日(金)
若者の就職面接会inハ王子	11月10日(木)
地域就職面接会	来年1月(予定)
企業を巡るバスツアー	来年2月(予定)
社長のカバン持ち体験	来年7～10月(予定)
ものづくり留学(長期インターンシップ)	実施予定

企業との“出会い”を応援 求人情報はここに

中小企業を見てみたくなったら。
さまざまな機関が皆さんの就活を応援する取り組みを行っています。



chapter3 市内の中小企業を

選ぶ

インタビュー 求職のポイント

足で稼ぐ就職活動を

ハ王子商工会議所業務部長 **淵上 安さん**

もし、中小企業に興味があるという学生さんがおられたら、ぜひともチャレンジしてほしいですね。

残念ながら中小企業の情報は、ネットではつかみにくい。大手の就職サイトに載っているハ王子の企業は10社にも満たない数です。ですから、実際に公共機関の窓口へ行ったり、場合によっては、企業を訪問し、自分の目で見たら、『足で稼ぐ就職活動』が重要になると思います。

私たち商工会議所や行政もそのきっかけとなるよう、インターンシップの受け入れや就職セミナーなど様々な催しを開催し

ていますので、積極的に活用してください。

実際に会社を見てほしい

ハ王子には、製造業をはじめとするさまざまな中小企業が集まっています。卓越した技術で売りに、世界で勝負している企業もある。私は、とにかく実際に会社を見てほしいと思っています。おもしろいし、働いてみたくなるような会社がたくさんありますよ。

不況とはいえ、採用意欲の高い中小企業は多いんです。ダイナミックな仕事ができますので、お薦めしたいですね。



プロフィール
中小企業の経営支援を行う。市内のものづくり企業の魅力を広く伝える雑誌の発行などにも携わる。

インタビュー 仕事体験から

飛び込んでよかった

株式会社東亜理化学研究所(小宮町)

川元 富美さん



プロフィール
大学4年生の時に参加したインターンシップをきっかけに(株)東亜理化学研究所に就職。入社1年目の23歳。東京家政学院大学卒業。

就活を始めた頃はインターネットで漠然と会社を探していた。みんなやっているからなんとなく私も、という感じでした。30社に応募しましたが、ほとんどだめでしたね。

自分を変えたかった

そんな中、学校で『ものづくり留学』を知り、自分を変えてみたいと思い参加してみました。『ものづくり留学』は、ハ王子の特長であるものづくり企業で、長期インターンシップとして就業体験をするというものです。

今の会社でお世話になることが決まり、展示会パネルの作成など、社員の方と同じ仕事をさせていただきました。とにかく仕事を任せてもらえることがうれしかった。

また、社長や社員の方とも話がしやすく、「ここで働きたい」という思いがどんどん強くなっていきました。最後は思い切った社長に直談判して、正社員になることができました。

正直最初は怖かったですが、飛び込んでみて本当に良かったです。

10月以降も節電を実施

引き続き皆さんのご協力をお願いします

市は、東日本大震災を受け、輪番休館や夜間窓口の閉鎖などを行い、電力使用量15パーセント削減を目標に市の施設の節電に取り組んできました。皆さんのご協力で、夏期は大幅な電力使用量の削減を達成。8月は前年比24・78パーセントの削減となっています。しかし、電力事情は回復せず、冬期はまた厳しい状況が予想されます。そこで市は、10月以降も節電の取り組みを継続していきます。

一部施設で利用制限を緩和

一方で、よりきめ細かな対応をするため、10月から一部の施設で利用制限を見直しました。高齢者や障害のある方の健康維持と皆さんの生活の安全・安心を最優先に考え、福祉施設などを緩和するほか、利便性の高い八王子駅南口総合事務所の夜間窓口を再開します。

開館方針の変更は随時お知らせ

今後各施設の電力使用量を勘案しながら、利用制限の見直しを進めていきます。各施設の開館方針は、随時ホームページでお知らせするほか、本紙にも掲載します。また、ご利用前に施設へお問い合わせいただければ開館状況をお伝えします。ご迷惑をお掛けしますが、皆さんのご協力をお願いします。

平常どおりの開館となる施設

男女共同参画センター(☎648・2230)、消費生活センター(☎631・5456)、子ども家庭支援センター(☎656・8225)、大横保健福祉センター(☎625・6501)、南大沢保健福祉センター(☎679・2205)、心身障害者福祉センター(☎624・5850)

利用制限を緩和する施設

施設名	10月以降の開館方針
八王子駅南口総合事務所(☎620・1150)	10月3日から平日夜間窓口を午後7時まで実施
東浅川保健福祉センター(☎667・1331)	休館日は平常通りに。月・木曜日の夜間は閉鎖

来年2月5日開催「夢街道駅伝」

スポンサーとボランティアを募集



▲今回は「がんばれ東北」をスローガンに開催

●スポンサー

内容 大会プログラムなどへの広告掲載や協賛金・協賛品の提供

申し込み 10月31日までに電話で、同大会実行委員会事務局(観光課内 ☎620・7378、FAX 627・5951)へ

●ボランティア

内容 沿道での歩行者の誘導など

申し込み 10月31日までに電話で、同大会実行委員会事務局(スポーツ振興課内 ☎625・7111、FAX 627・5935)へ

今号から本紙を改訂

皆さんに親しんでいただける紙面をめざして

フルカラー印刷にするなど、本紙を改訂しました。印刷費は1部あたり5・47円(従来は5・31円)となりますが、経費の縮減にも取り組んでいます。

1日号を「政策号」、15日号を「お知らせ号」に

また、1日号、15日号に掲載する記事の分類を見直しました。各号に掲載する情報は次のとおりです。

- 1日号…特集、新しい事業、子育て・福祉の情報を中心に
 - 15日号…講座や教室・催し物、例年のお知らせを中心に
- ※市民団体からの情報を掲載する「ひろば」は15日号のみにあります。

問い合わせ 広聴広報室(広報担当 ☎620・7228、FAX 626・3858)へ

市民の皆さんの公益的な活動に補助金

対象 平成24年4月～25年3月に実施し、次に該当するもの

①活動支援部門…すでに公益的な活動をしているが活動基盤が整っていない団体や、これから公益的な活動をしようとしている団体が活動を広く紹介するための経費

②事業実施部門…自立運営を目標に企画・実施する公益的な事業や、将来、市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部

補助金額 ①10万円まで、②1回目は事業費の2分の1以内(上限100万円)、2回目以降は3分の1以内、または前回交付決定額の80パーセントの

いずれか少ない額

申し込み 市役所7階協働推進課、各事務所・市民センターで配布する応募書類に必要事項を記入して、10月24日～11月25日(必着)に直接、または郵送で八王子市役所協働推進課(〒192-8501)へ

10月19日に募集説明会

日時 10月19日(水)午後3～4時
会場 クリエイトホール
申し込み 不要、直接会場へ

問い合わせ 協働推進課(☎6207401、FAX6269025)
3へ



▲幼児が楽しく防火について学べる取り組みも

市民企画事業補助金とは

市民の皆さんがより良いまちの実現をめざして企画・立案する公益的な取り組みを対象とした補助金制度です。

平成23年度は、福祉や防災、環境保全などさまざまな分野の24の団体が制度を利用しています。



WATCHING HACHIOJI
ウオッチング

はちおうじ

まちの話題



「安心のまち」を協働で

9月5日、市と市内の三警察署(八王子・高尾・南大沢)は多摩地区ではじめて「安全安心推進協働宣言」を締結しました。これは、市と警察署の連携をさらに強化し、犯罪のない住みよいまちづくりに取り組むためのもの。今後、全市的に「カギかけ運動」などを展開するほか、各署の活動を市がバックアップします。



迫力の踊りで観衆を魅了

先月3・4日、西八王子駅前を会場に「踊れ西八夏祭り」が開催されました。30グループが阿波踊り、YOSAKOIなどを披露し、迫力あるパフォーマンスで観衆を魅了しました。



検診

◆11月の胃がん検診

対象 市内在住で昭和47年3月31日までに生まれ、次に該当しない方
▼今年5月以降に胃部X線検査を受けた
▼妊娠中かその可能性がある
▼勤務先などで受診できる
▼胃部の手術を受けたか、現在治療中
▼検診台の上で姿勢を変えられない ※バリウムを使ったX線検査を行います。治療中の病気がある方は主治医に相談を。

会場・期日 左表のとおり 時間 午前中 費用 500円(70歳以上、生活保護を受けている、平成22年度市民税非課税世帯の方は無料) 申し込み 〃ハガキ、または封書(1人1枚)に「胃がん」と希望会場名・期日(第5希望まで)・住所・氏名(ふりがな)・性別・生年月日・電話番号を書いて、10月11日(必着)に八王子市役所地域医療推進課(〒192-8501 ☎620・7428) ※申込結果は10月24日頃郵送します。

◆11月の歯周疾患検診

対象 市内在住で4月～来年3月に40・45・50・55・60・65・70歳になる、または71歳以上で市の検診を一度も受診していない方 勤務先などで受診できる方を除く
期間 11月中 会場 市指定の歯科医院 費用 500円(70歳以上、生活保護を受けている、平成22年度市民税非課税世帯の方は無料) 申し込み 〃ハガキ、または封書(1人1通)に「歯周」と住所・氏名(ふりがな)・生年月日・電話番号を書いて、10月14日(必着)までに八王子市役所地域医療推進課(〒192-8501 ☎620・7428) ※今年度最後の募集です。

講座・教室

◆講演会「ストレス社会の過ごし方」

日時 10月20日(木)午後2～4時 会場 八王子労政会館(明神町三丁目) 定員 〃

催し

◆健診データ改善相談

対象 市内在住で血糖値・コレステロール・中性脂肪・血圧が気になる方、または

◆楽しい歌声教室

対象 市内在住で60歳以上、または障害のある方 日時 10月13日(木)午後2時～3時30分 会場 南大沢保健福祉センター(☎679・2205) 定員 60名(先着順) 費用 100円 申し込み 〃不要、直接会場へ

150名(先着順) 費用 〃無料 申し込み 〃不要、直接会場へ 問い合わせ 〃保健所保健対策課(☎645・5111)

水中ウォーキング教室



肩こりや腰痛の解消・予防にも

対象 市内在住で60歳以上の方(今年度受講した方を除く)

日時 11月1日～12月20日の火曜日の午後1時45分～3時(全8回)

会場 東浅川保健福祉センター
定員・費用 25名(抽選)・1,000円

申し込み 往復ハガキに「水中」と住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号、返信面の宛名を書いて、10月10日(必着)までに八王子市東浅川保健福祉センター(〒193-0834 東浅川町551-1 ☎667・1331、FAX 667・7829)へ

◆機能回復訓練

その家族 内容 保健師・栄養士による相談 日時 10月17～31日の午前9時30分～午後3時30分(1人50分程度) 会場 大横保健福祉センター(保健センター内 ☎625・9200)、東浅川保健福祉センター(☎667・1331)、南大沢保健福祉センター(☎679・2205) 費用 〃無料 申し込み 〃10月3日から電話で各センターへ

対象 市内在住で脳血管障害などによる後遺症でリハビリ訓練が必要な方(他の機関で受けている方は除く) 日時 〃月・水曜日の午前10時～正午、午後1～4時 会場 〃心身障害者福祉センター 定員 〃各若干名 費用 〃無料 申し込み 〃電話で心身障害者福祉センター(☎624・5850)

◆聴覚障害者の集い

日時・会場 10月1日(土)午後2～4時：心身障害者福祉センター(☎624・5850) ▼10月15日、11月19日、12月17日の午後2時30分～4時30分：南大沢保健福祉センター(☎679・2205) 申し込み 不要、直接会場へ

◆ふれあい運動会

市内の福祉施設や団体の皆さんが出場する運動会です。
日時 10月16日(日)午前9時～午後3時
会場 富士森公園陸上競技場(雨天の場合は10月30日に桐田小で) 問い合わせ 心身障害者福祉センター(☎624・5850)

福祉のまじむくろ

◆シルバーパスを発行

70歳以上の方には、申し込みによりバス事業者から「シルバーパス」が発行されます。有効期限は来年9月30日まで。費用は、平成23年度の市・都民税が非課税、または課税であっても22年の合計所得金額が125万円以下の方は千円、それ以外の方は2万510円です。申請の際は、住所・氏名・生年月日が確認できるものと、非課税、または合計所得金額が125万円以下の方は、23年度の介護保険料納入(決定)通知書、市・都民税課税(非課税)証明書のどちらかのご用意を。問い合わせは東京バス

休日パママクラス



対象 市内在住の妊婦とその家族(参加した経験のある方を除く)

日時 10月22日(土)午後1～4時
会場 南大沢保健福祉センター分室
定員・費用 36組(抽選)・無料
申し込み 往復ハガキ(1家族1枚)に参加者全員の氏名・妊婦との続柄・出産予定日・住所・電話番号、返信面の宛名を書いて、10月7日(必着)までに南大沢保健福祉センター(〒192-0364南大沢2-27 ☎679・2205、FAX 679・2214)へ



▲募金箱は市役所などに。このマークが目印

◆赤い羽根共同募金に協力を

今年1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。この運動は、福祉施設や団体の支援と地域福祉活動を推進するためのものです。また、皆さんからの募金の一部は、災害に備えるための資金として積み立てます。
今年も、皆さんの温かいお気持ちをお寄せください。問い合わせは共同募金八王子地区協力会/社会福祉協議会内 ☎620・7338へ。

協会(☎03・5308・6950)、または高齢者支援課(☎620・7243)へ。

ファミリー・サポート・センターの説明会



託児は予約が必要なものもあります。詳しくはお問い合わせください。



内容 子育ての手助けをしてほしい方(依頼会員)に、お手伝いできる方(提供会員)を紹介するファミリー・サポート・センターの説明 日時・会場 10月20日午前10時～11時30分：市役所8階803会議室 ▼11月22日、12月13日の午前10時～11時30分：学園都市センター 定員 各30名(先着順) 申し込み 10月3日から電話でファミリー・サポート・センター(☎621・7001)

ひとり親家庭養育費講座

対象 市内在住でひとり親家庭、またはこれから離婚を考えている方 内容 養育費の取り決め方や算出方法、公正証書の作成について 日時 11月10日(木)午後1時30分～3時 会場 クリエイトホール 定員 20名(先着順) 費用 無料 申し込み 10月3日から電話で子育て支援課(☎620・7362)



講演会「こがポイン ト 食物アレルギー」

対象 市内在住で未就学のお子さんがいる方、または市内の保育園・幼稚園関係者 日時 10月25日(火)午後2～4時 会場 保健所 定員 50名(先着順) 費用 無料 申し込み 10月3日から電話で保健所保健対策課(☎45・5111)



おいしく・楽しく・幼児食

対象 市内在住で平成21年4月～22年1月生まれの第1子のお子さんとその保護者 内容 栄養士の講話など 日時 10月25日(火)午前10時～11時30分 会場 大横保健福祉センター(保健センター内) 定員 18組(先着順) 費用 無料 申し込み 10月3日から電話で大横保健福祉センター(☎625・9200)





募集

■市立看護専門学校の社会人入学者

対象 市内在住で25歳以上の方
試験日 11月12・19日 募集人員 若干名
受験料 4千円 申し込み 同校で配布する募集要項に必要事項を記入して、10月17・24日消印有効に郵送で八王子市立看護専門学校(〒193-0944 館町1163 ☎663・7170)

■市立看護専門学校の戴帽式の参列者

学生が誓いを立てる「戴帽式」の一般参列者を募集します。
日時 11月5日(土)午前10時～11時30分
会場 市立看護専門学校
定員 20名(抽選) 費用 無料
申し込み 往復ハガキに「戴帽式」と住所・氏名・電話番号・返信面の宛名を書いて、10月28日(必着)までに八王子市立看護専門学校(〒193-0944 館町1163 ☎663・7170)

税金

■日曜日の市税・国保税の納税相談・納付窓口

日時 10月2・9・16・23・30日、11月6・13・20・27日の午前8時30分～午後5時(受付は4時30分まで)
会場 問い合わせ 市税は市役所2階納税課(☎620・7224)、国保税は1階国民健康保険年金課(☎20・7237)

防災・くらしの安全

■外国人のための防災訓練

対象 市内在住・在勤・在学の外国人
集合 10月22日(土)午前8時、または午後1時30分にクリエイティブホール前
会場 立川防災館(立川市) 定員 各23名(先着順) 費用 無料
申し込み 10月14日までに電話で国際交流課(☎620・7437) ※当日は英語、中国語、韓国語の通訳が同行します。

環境・都市づくり

■「環境白書2011」を発行

環境白書は、よりよい環境をめざして、市民や事業者の皆さんと市が協力して取り組んだ内容や市の環境の現状を報告するものです。市役所

救急診療

- 毎日の午後8時～11時
夜間救急診療所(小児科・内科)
☎625・9910 台町4-33-13
小児・障害メディカルセンター内
- 毎日の午後5時～翌朝
南多摩病院(小児科)
☎663・0111 散田町3-10-1
- 奇数日の午後11時～翌朝
東海大学八王子病院(小児科)
☎639・1111 石川町1838
- 偶数日の午後11時～翌朝
東京医大八王子医療センター(小児科)
☎665・5611 館町1163

症状が重く、特に緊急を要する場合
●奇数日の通常診療終了～翌朝
(日曜・祝日は午前8時30分～翌朝)
東海大学八王子病院(小児科)
☎639・1111 石川町1838
●偶数日の通常診療終了～翌朝
(日曜・祝日は午前9時～翌朝)
東京医大八王子医療センター(小児科)
☎665・5611 館町1163

救急車を呼ぶべきか迷ったら
消防庁救急相談センター(24時間)
☎#7119または☎042・521・2323

救急病院の案内(24時間)

- 消防庁救急相談センター
☎042・521・2323
- 八王子消防署
☎625・0119
- 東京都保健医療情報センター
☎03・5272・0303

休日歯科応急診療所(午前9時～午後4時)
☎622・7026 台町4-33-13
小児・障害メディカルセンター内

▼休日眼科当番医

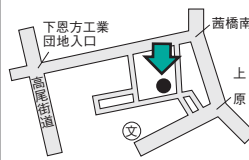
10日(午前9時～午後5時)

えびさわ眼科クリニック
平岡町 8-6 ☎620・1166



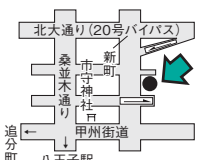
9日(午前9時～午後5時)

あおき 成外科眼科クリニック
下恩方町 350 ☎659・1397



午前9時～午後5時

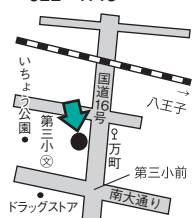
米山産婦人科病院
新町 2-12 ☎642・5225



▼休日救急診療の内科・外科・小児科

9日(午前9時～午後5時)

清川医院 (内)
寺町29-4 2階
☎622・4143

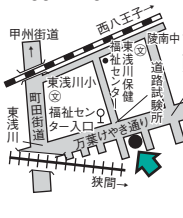


長池脳神経クリニック (内)
別所1-75-3
☎678-7360

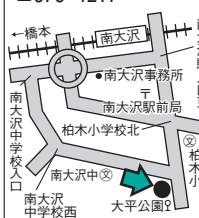


2日(午前9時～午後5時)

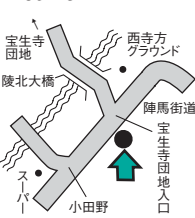
菊地外科医院 (外)
東浅川町528-1
☎661・7161



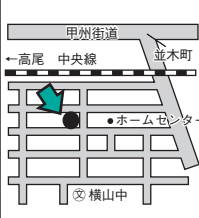
吉岡 科クリニック (内)
南大沢3-5-1
☎676・1211



おがたクリニック (外)
西寺方町624-1
☎651・3714



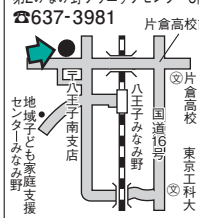
スマイ こどもクリニック (内)
散田町5-4-20
☎661・5529



大生医院 (内)
万町82-1
☎622・4769



いわつぼ小児クリニック (内)
西片倉3-1-4
第2みなみ野クリニックセンター3階
☎637・3981



※休日当番医は市のホームページでもご確認いただけます。

1階市政資料室、市の4つの図書館、市のホームページなどでご覧になれます。問い合わせは環境政策課(☎620・7384)へ。

■生産緑地地区変更案の縦覧

期間中、内容に対して意見書を提出することができます。縦覧は各事務所でも出来ます。

縦覧日時 10月3・17日の午前8時30分～午後5時15分 縦覧場所 意見書の提出 市役所6階都市計画室 (☎620・7258)

■違反建築防止週間

10月11日から17日までは、違反建築防止週間です。市は、17日に市内一斉に違反建築防止パトロールを行います。問い合わせは建築指導課(☎620・7386)へ。

産業

■商業アドバイザーによる相談

専門家が直接お店を訪問し、アドバイスをしています。

対象 市内で商売を営んでいる方(業種は不問) 費用 無料 問い合わせ 産業政策課(☎620・7252)

講座・教室

■教育支援ボランティア研修会

対象 市内在住・在勤・在学中で18歳以上の方 日時 10月12日(水)午後2～4時 会場 教育センター 定



▲今年の手形は大正百年記念版

いちよう祭り 通行手形を販売

11月19・20日に開催される八王子いちよう祭りの関所をめぐる通行手形を販売しています。販売窓口は以下の通りです。

▶いちようホール ▶学園都市センター▶南大沢文化会館 ▶長房市民センター ▶浅川市民センター ※浅川市民センターは11月7日から詳しくは八王子いちよう祭り祭典委員会(☎668・8383、FAX673・6661)まで。

テーマ 東日本大震災のマンション

■分譲マンション管理セミナー・相談会

会場 クリエイトホール 申し込み 往復ハガキ・ファックス・Eメールに講座名、住所氏名・年齢・電話番号、往復ハガキは返信面の宛名も書いて、10月15日(必着)までに男女共同参画センター(〒192・0082東町5・6 ☎648・2230、FAX644・3910、Eメール h050900@city.hachioji.tokyo.jp) ※①3歳～就学前、②1歳～就学前のお子さんをお預かりします。託児希望と、お子さんの名前・年齢のお書き添えを。

員 200名(先着順) 費用 無料 申し込み 「研修会」と住所氏名・電話番号を書いてファックス、または電話で、10月7日までに教育支援人材バンク(教育センター内 ☎664・1193、FAX662・2988)

■男女共同参画センターの講座

①女性の再就職支援セミナー 対象 市内在住で6か月以内に再就職をめざしている子育て中の女性 日時 10月27日(木)午前9時15分～11時45分 定員 18名(抽選) 費用 200円

②40歳からのフレッシュアップ講座

対象 市内在住・在勤のおおむね40歳以上の女性 日時 11月10・17・24日の午後1時30分～3時30分 定員 20名(抽選) 費用 200円

会場 クリエイトホール 申し込み

▼休日救急診療の内科・外科・小児科

10日(午前9時～午後5時) 真宮病院 (内) (外) 南新町23 ☎625-0648 		原田クリニック (内) 中野上町4・11・8 ☎622-9297 	
澤田内科クリニック (内) (外) 東浅川町519-3 ☎669-5606 		鹿島クリニック (内) (外) 鹿島5 ☎676-0776 	

■子ども将棋教室

対象 市内在住の小学3年生～中学生 日時 10・12月の毎月第2・4土曜日の午前10時～11時30分 会場 南大沢保健福祉センター(☎679・2205) 定員 各35名(先着順) 費用 無料 申し込み 不要、直接会場へ

催し

■戦没者・戦災殉難者追悼式

日時 10月31日(月)午前10～11時 会場 オリンパスホール八王子 問い合わせ 健康福祉総務課(☎620・7241)

■民踊フェスティバル

開演日時 10月23日(日)午前10時 会場 オリンパスホール八王子 費用 無料 申し込み 不要、直接会場へ 問い合わせ 八王子民踊協会(八王子観光協会内 ☎643・3115)

■獣害対策ハイキング

市の獣害対策の現状を知っていたら、紅葉シーズンの高尾山でハイキングを開催します。対象 市内在住・在勤・在学中で11キロ程度の山歩きができる方 集合 11月12日(土)午前9時にケープルカー清滝駅(解散は午後3時頃小仏バス停で) 定員 30名(抽選) 費用 千円 申し込み ハガキに「ハイキング」と住所氏名・年齢・電話番号を書いて、10月15日(消印有効)までに八王子市農林課(〒192・8501 ☎620・7375)

催し

■文化財見て歩き「川口」自由民権の里と中世川口郷を歩く

集合 11月5日(土)午前9時40分に森下バス停(解散は午後2時頃川口小学校バス停で) 定員 30名(抽選) 申し込み 往復ハガキに「川口」と参加者全員の氏名・年齢・代表者の電話番号・返信面の宛名を書いて10月12日(必着)までに八王子市文化財課(〒192-8501 ☎620・7265)へ。

■自然体験・観察会「見て遊ぶ、さわって感じる秋の里山」

対象 市内在住・在勤・在学で小学生以上の方 集合 10月29日(土)午前9時30分に旧稲荷山小学校(解散は午後3時頃同所) 定員 30名(抽選) 費用 300円 申し込み Eメール、ファックス、往復ハガキに「自然体験」と参加者全員の住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号、往復ハガキは返信面の宛名も書いて、10月14日(必着)までにはちおうじ自然体験実行委員会(生涯学習総務課内 〒192-8501 ☎620・7334、FAX 626・8554、Eメール b320100@city.hachioji.tokyo.jp)へ。

■さつまいも収穫体験

対象 市内在住の小学生以下のお子

さんとその保護者 日時 10月22日(土)午前9時30分 会場 石川町周辺 定員 20組(先着順) 費用 1キロ 200円 申し込み ハガキに「さつまいも収穫体験」と住所・氏名・人数・電話番号を書いて、10月7日(必着)までに八王子市農林課(〒192-8501 ☎620・7250)へ。

■秋のJA植木市

日時 10月8・9日の午前9時30分～午後4時 会場 富士森公園 問い合わせ 農林課(☎620・7250)へ。

■道の駅八王子滝山の催し

①道の駅交流イベント

内容 道の駅マリンドリム能生(新潟県糸魚川市)との交流で、カニなどを販売 日時 10月1・2日の午前9時～午後5時(無くなり次第終了)

②秋の収穫祭

内容 旬の農産物の販売 日時 10月8日(土)午前9時～午後3時(無くなり次第終了)

③体育の日イベント「吹き矢体験」

日時 10月9・10日の午前10時～午後4時

④ガーデニング教室「初めてのやさしいハンギングバスケット」

日時 10月23日(日)午前9時30分～11時 定員 15名(先着順) 費用 2千500円

会場 道の駅八王子滝山 申し込み ①～③不要、直接会場へ、④10月2日から電話で道の駅八王子滝山(☎696・1201)へ。

その他

■市政世論調査の結果を公表

このほど、平成23年度の市政世論調査の結果がまとまりました。報告書は市役所1階市政資料室、市の4つの図書館と北野分室、市のホームページでご覧になれます。問い合わせは広聴広報室(広聴担当 ☎620・7411)へ。

■市民体育館の窓口業務休止

10月3日(月)は、市民体育館(☎625・7111)は電気設備の点検のため、窓口業務をお休みします。

空間放射線量 (9月14日)		問い合わせは放射線相談窓口 (☎620・7283)へ	
測定場所	測定値	測定場所	測定値
富士森公園	0.05	松竹農村公園	0.09
清水公園	0.07	落合公園	0.10
わくわくビレッジ	0.08	大塚公園	0.06
宇津貫公園	0.05	久保山公園	0.07
上柚木公園	0.05	美山中央児童遊園	0.07
鳥栖公園	0.08	大和田河川敷広場	0.07

※地上1メートルで測定。単位はマイクロシーベルト/時

シンポジウム 「防災を考える」

元NHK解説委員の伊藤和明さんによる地震に関する基調講演などを行います。

日時 10月30日(日) 午後1時50分～4時30分

会場 クリエイトホール

定員・費用 170名(先着順)・無料

申し込み 10月3日から、住所・氏名・電話番号を書いてファックス、または電話で消費生活センター(☎631・5456、FAX 643・0025)へ



▲伊藤和明さん

檜原斎場 葬儀セミナー

「万一」に備えて、残された人たちのために自分の希望を書き記すエンディングノートの作成のほか、相続・遺言など将来に向けての備えに関するお話をします。

日時 11月6日(日)午前10時～正午

講師 行政書士・高崎鉄也さん

会場 檜原斎場

定員 80名(先着順)

費用 無料

申し込み 10月2日から電話で檜原斎場(☎620・3101、FAX 620・3102)へ



▲当日は施設の見学も

10月相談カレンダー

※印は祝・休日を除きます。定員がある相談もあります。

相談名		日時	会場・問い合わせ	相談名	日時	会場・問い合わせ
人権		11日午後1～3時	市役所総務課 ☎620・7201予約は電話で	就職などの心の悩み相談	毎週水・金曜日の午後2～4時(第5週は休み)	八王子しごと情報館 ☎656・4788 予約は電話で
女性福祉		※月～金曜日の午前9時～正午、午後1～4時	市役所生活福祉課 ☎620・7443予約は電話で	高齢者総合	※月～金曜日の午前8時30分～午後5時	市役所高齢者支援課 ☎620・7420
女性のための	相談	※木曜日の午後1～4時	クリエイトホール8階男女共同参画センター ☎648・2234予約は電話で	成年後見制度・権利擁護	※月～土曜日の午前9時～午後5時30分	市内12か所の地域包括支援センター
	カウンセリング	※水・土曜日の午前9時～正午、14日午後1～4時、14・21日の午後4～7時	で同センターでは、女性を対象とした一般的な相談もお受けしています(午前9時～午後7時、日曜日、4日は5時まで)	ひとり親家庭	11・25日の午後2～4時	市役所内社会福祉協議会 ☎620・7365予約は電話で
	弁護士相談	15日午後2～5時		専門家による子育て相談	※①月～金曜日の午前9時～正午、午後1～4時、②14日午後2～4時	①市役所子育て支援課、②八王子駅南口総合事務所予約は電話で子育て支援課☎620・7362へ②は11日午前9時から受け付け
法律		※①月・水・木・金曜日の午後1時10分～4時10分、②火・木曜日の午後1時30分～4時30分、③7・21日の午後1時30分～4時30分	①市役所暮らしの安全安心課、②八王子駅南口総合事務所、③南大沢事務所 予約は月曜日(祝・休日の場合は前週の水曜日)の午前9時30分から電話で暮らしの安全安心課☎620・7227へ	子ども家庭総合	毎週日曜日の午前11時～正午(1週目…歯科医師、2週目…薬剤師、3週目…小児科医師、4週目…栄養士)	クリエイトホール1階子ども家庭支援センター ☎656・8225 日時が変更になる場合があります
司法書士法律		28日午後1時～3時30分		総合教育相談室	午前9時～午後7時(日曜日、祝・休日は5時まで。第1火曜日を除く)	クリエイトホール1階子ども家庭支援センター ☎656・8225
不動産		4・18・25日の午後1時～3時30分		こども電話相談	※月～土曜日の午前9時～午後5時	市内5か所の地域子ども家庭支援センター
登記		11日午後1時～3時30分		あなたの相談室	※月～金曜日の午前8時30分～午後5時	教育センター ☎664・6949
税金		5日午後1時～3時30分	市役所暮らしの安全安心課☎620・7227へ予約は当日午前9時30分から電話で	保健・栄養相談	※火・木・金曜日の午前10時～午後3時	教育センター ☎664・3665(子ども専用)
相続・遺言等暮らしの手続		12・19・26日の午後1時～3時30分		こころの健康相談	※水曜日の午後1時30分～4時30分	市役所検査棟1階相談室 ☎621・5657 面談の予約は電話で
年金・雇用保険労働条件		14日午後1時～3時30分		HIVに関する相談・抗体検査	※月～金曜日の午前9時～午後5時	保健所保健対策課 ☎645・5111
交通事故		※木曜日の午後1時20分～4時30分		理学療法士による健康相談	※月～土曜日の午前9時～午後4時	大横保健福祉センター(保健センター内)☎625・9200予約は電話で
消費生活相談		※月～土曜日の午前9時～午後4時30分	消費生活センター ☎631・5455	保健福祉・栄養	4日午後1時30分～4時(65歳以上の方)	大横保健福祉センター☎625・6501、FAX627・5927
弁護士による消費生活相談		11・28日の午後1時30分～4時30分	消費生活センター ☎631・5455予約は電話で	理学療法士による健康相談	午前9時～午後4時(第2月曜日を除く)	東浅川保健福祉センター ☎667・1331、FAX667・7829予約は電話、またはファックスで
外国人のための	生活相談	※月～土曜日の午前10時～午後5時	八王子スクエアビル11階八王子国際協会☎642・7091	保健福祉・栄養	13・27日午前9時～11時30分(65歳以上の方)	南大沢保健福祉センター ☎679・2205、FAX679・2214予約は電話、またはファックスで
	行政書士相談	8日午後2～5時		理学療法士による健康相談	※月～土曜日の午前9時～午後4時	
団塊・シニア世代の地域参加支援		※月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分	市役所協働推進課(支援デスク)☎627・0802	保健福祉・栄養	11日午後1時15分～4時10分(65歳以上の方)	
住まいのなんでも相談		17～21日の午前9時～午後4時	市役所1階市民ロビー・住宅対策課☎620・7260			

次号・10月15日発行の **広報はちおうじ** は…

市営霊園の利用者を募集、環境講演会、八王子車人形と民俗芸能の公演 など

浅川流域の川の恵み「シンポジウム

未来の子どもたちにつなげよう



▲浅川は市民共有の財産

多くの命を育み、さまざまな表情を見せてくれる浅川。この貴重な財産を未来へつなげるために、今わたしたちに何ができるのか。日野市と連携して、講演やパネルディスカッションを行います。

日時 11月6日(日)午後1時30分～4時30分

会場 学園都市センター

定員・費用 216名(先着順)・無料

申し込み 不要、直接会場へ

問い合わせ 水環境整備課(☎620・7291、FAX626・3019)へ

街道市と復興応援フェア

新宿から下諏訪までの、甲州街道沿道にある地域の紹介や、ブドウ・甲州ワインなど各地の名産品・特産品の販売を行います。また今回は、東日本大震災復興応援フェアも同時に開催。被災地の皆さんによる出店が並びます。

日時 10月15・16日の午前10時～午後7時(16日は5時まで、復興応援フェアは

両日とも5時まで)

会場 西放射線ユーロード

問い合わせ 八王子メッセ・運営事務局

(☎623・6311)、または観光課(☎

620・7378、FAX627・5951)

1、復興応援フェア：産業政策課(☎620・7252、FAX627・5951)へ



▲各地の名産品がずらり

■市政へのご意見・ご提案
広聴広報室(広聴担当)
☎620・7411、FAX620・7322
■市の防災気象情報はホームページからご覧になれます。

世帯と人口(平成23年9月1日現在)

	住民基本台帳	前月比
世帯数	248,219	+101
人口(男)	279,865	+112
(女)	275,817	-15
計	555,682	+97
外国人登録		
人口(男)	3,945	-35
(女)	5,140	-49
計	9,085	-84

市徽章… 大正6年、市制施行を記念して、制定したものです。

本紙は毎月1日と15日に発行しています。

■発行
八王子市 ☎626・3111(代表)
(〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号)

■編集
広聴広報室(広報担当)
☎620・7228、FAX626・3858
■各ご家庭への配布
シルバー人材センター
☎626・1274、FAX626・5159

電話のおかけ間違いにご注意ください。



音が鳴る防犯
グッズも効果的

オートバイにも
防犯登録を



市内では、今年の1月から8月までにオートバイが413台昨年同期比プラス14台も盗難に遭っているんだ。鍵を抜いているにもかかわらず、盗まれる事例もあるんだよ。盗まれたオートバイは、ひったくりなどの犯罪に使用されることが多いんだ。二重の犯罪を招かない



ピーポくんの安全・安心アドバイス
オートバイ盗の防止には二つの鍵を

ように、防犯対策をしようね。

◆離れるときはハンドルロックと
もう一つ別の鍵を

オートバイから離れるときは、わずかな時間でも必ずハンドルをロックしてから鍵を抜いてね。さらにU字・ワイヤーロックなど、補助ロックも活用しよう。

◆オートバイにも欠かせずブッド
ライダー・防犯登録を

この制度は登録をすると、フレーム番号なども記録し、オンライン網で情報を共有。不審車両を発見した場合に、所有者をすぐに照会できるんだ。費用は1台千50円(防犯登録のみ)で、オートバイ販売などで申し込みができるよ。盗難抑止にも効果があるから利用してね。

問い合わせ

八王子・高尾・南大沢警察署
☎645・0110(代表)